

事務事業名	《H25新規》八田リサイクルセンター整備事業		所属部局	市民部	単位番号	2013- 900075					
	□ 実施計画事業		所属課室	環境課	課長名	小笠原 良仁					
			所属担当	ごみ減量化推進担当	担当者名	藤巻 和彦					
基本政策	基本計画体系	IV	快適で心のかよいあう都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
政策		20	快適生活環境の整備	事業区分	01	一般	04	01	05	020	11
施策		33	生活環境の保全		<input checked="" type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業					
					<input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 補助金交付事業					
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 25 年度)	期間限定複数年度 (~ 年度)	法令根拠	廃棄物の処理及び清掃に関する法律						
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載			事業費の主な内訳 (25年度 決算見込)							
	リサイクル施設の設置・運営事業とし、市民にとってごみを出しやすい環境とリサイクル率の向上を目指す。施設の内容は、一般家庭ごみ・粗大ごみ・資源ごみ等の一時保管施設とし、ごみの適正処理を行う。			項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)				
	設置場所は、市保有の既存施設(土地)を活用し、予算を極力かけない物とする。平成25年度は、八田地区に市内2ヶ所目を設置し、市北部地区を対処する。なお、26年以降は、甲西・八田リサイクルセンターの状況及び市民からの意見により、検討していく。			消耗品費	747						
				手数料	39						
				その他工事請負費	2,100						
				その他備品購入費	4,880						
						計	7,766				

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	25年度活動実績	市内2ヶ所目の設置・運営開始	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
	26年度活動予定	平成25年度で完了			ア市民	人
					イ世帯	世帯
					ウ	
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	市民	市内から出るごみ	⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	名称	単位
					ア自治会未加入世帯	世帯
					イ収集量	トン
					ウ	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	ごみの減量化	リサイクルの意識	⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
					ア可燃・不燃ごみ排出量	トン
					イ資源ごみ排出量	トン
					ウ粗大ごみ排出量	トン
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	資源の再利用(リサイクル)の向上		⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
					アリサイクル率	%
					イ	

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	最終	年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	(トータルコスト・目標)	
		国庫支出金	千円								
		県支出金	千円			1,481					
		地方債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円			5,663					
		事業費計(A)	千円	0	0	7,144	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人			2					
		延べ業務時間	時間			18					
		人件費計(B)	千円	0	0	82	0	0	0	0	0
		(A)+(B)	千円	0	0	7,226	0	0	0	0	0
	活動指標	ア人				72,360.0					
		イ世帯				24,787.0					
		ウ									
	対象指標	ア世帯									
		イトン									
		ウ									
	成果指標	アトン									
		イトン									
		ウトン									
	上位成果指標	ア%									
		イ									

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	平成23年度に、市民が分かり易く利用しやすい、資源回収センターの開設を目指し、建設検討委員会を立ち上げ、先進地視察等を行い、開設に向けての意見をいただき、準備を進めてきた。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	南部、北部資源回収センターとも開設して1年を経過していないため、実績がつかめませんが、利便性がよいので、資源ごみ収集量の増加が見込まれ、財源の確保にもつながる。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	毎週木曜日～日曜日の午前9時～午後4時まで資源ごみを収集しているため、利便性がよく、市民からは、大変喜ばれている。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	平成25年8月1日より稼働のため、実績がつかめないので、今後の利用状況等を見ながら改革改善の取り組みを行う。
③ H 25年度に実施した改革改善の内容	特に無し。

事務事業名	＜H25新規＞八田リサイクルセンター整備事業	所属部	市民部	所属課	環境課
-------	------------------------	-----	-----	-----	-----

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 ごみの減量化とリサイクル意識の向上
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 廃掃法により市民から出た一般廃棄物は、地方公共団体が処理しなければならない。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 市民の利便性を更に高め、ごみを出す機会を増やし、リサイクルの意識の向上
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 市民の利便性を更に高めることで、資源ごみ回収の向上につながる。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 生活環境の美化意識の低下 地域での生活環境が悪化
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 必要最小限の事業費であるため削減余地はない
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 必要最小限の人件費であるので削減の余地はない
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 市全域を対象としているので公平・公正である

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	資源回収センターを設置したことで、市民がごみを出す機会が増えリサイクルに対する意識が向上した。今後更に利便性を高め、市民に喜ばれる資源回収センターにしたい。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について 市民の利便性をさらに向上させ、資源ごみのリサイクルを推進する。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 資源回収センターの周知を徹底	(5) 事務事業優先度評価結果 平成25年度																					
	成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果																					